

誤りの師を捨てて

日蓮大聖人は、

「師なりとも誤りある者をば捨つべし」（曾谷殿御返事・御書一〇三九ペー）

と仰せられています。池田大作は、御法主上人を誹謗中傷し、『ニセ本尊』を作製・販売するなど、数々の大謗法を犯した「誤りある者」です。御書に、

「根源の師を忘れて、余へ心をうつさば必ず輪廻生死のわざはひなるべし」（同ペー）

とあるように、仏法における「根源の師」を忘れて、心をほかに移すならば、迷いの人生を送ることになり、やがては地獄に堕ちてしまいます。

どうか一刻も早く池田大作という「誤りの師」を捨てて、日蓮正宗に帰依し、日蓮大聖人の仏法を正しく伝持される御法主上人のもとで師弟相対の信心に励み、本当の幸せを得ていきましょう。

総本山第六十六世日達上人御指南

「『あの人気が師匠だから、あの人気が死んで地獄に落ちたならば自分も地獄に落ちても良い』などと言っている人がありますが、これは大変な間違いであります。これは実は親鸞しんらんが法然ほうねんに対して言つた言葉なのです（中略）法華経にはそのような考え方はありません。法華経は、『師匠が地獄に落ちるならば、自分は法華経をもって救つてやろう』というのが本当の教えなのであります」

（『日達上人全集』二一五一六九ペー）

創価学会の
「師弟観」は
誤りです！

はじめに

仏法では、私たちの真の幸せは、成仏することにあると
説かれています。

成仏は、正しい法を正しく修行するところに叶うので
あり、そのためには、正しい教えを説く師匠かたに従つて修行
する「師弟相対の信心」が肝要となります。

創価学会の師弟観

創価学会では、池田名誉会長を「世界に名を残す大指導者」「全世界から称号や勲章をもらつ
ているからすばらしい」などと賞賛し、「人生の師匠として、どこまでもついていくこと」「学会
の師弟を忘れて成仏はない」と、会員に指導しています。

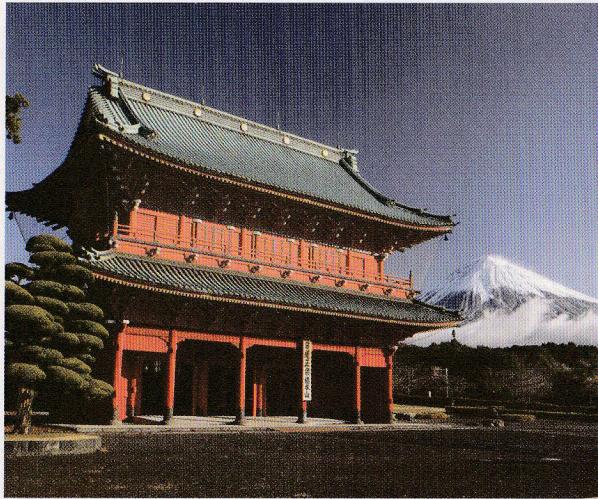
しかしこれが、日蓮大聖人の説かれた正しい師弟の道なのでしょうか。この指導どおりに学
会活動に励んできたあなたは、現在、本当に幸せになつているのでしょうか。
正しい「師弟相対の信心」なくして、真の功德くわくは得られないのです。

師弟相対の信心

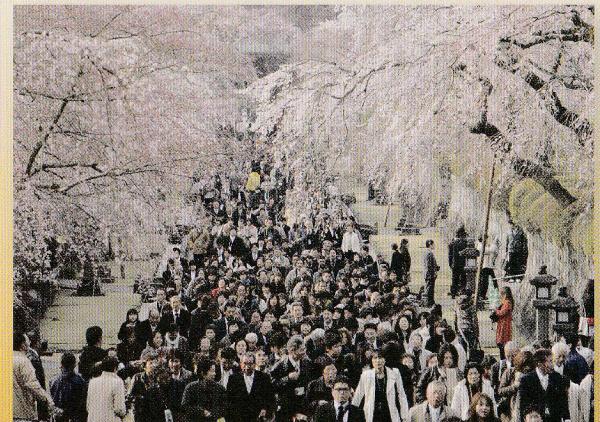
正しい仏法の師とは、主・師・親の三徳を一身に具えられた仏をいい、末法においては、下種
の御本仏である日蓮大聖人以外におられません。

日蓮大聖人は、本門戒壇かいだんの大御本尊をはじめ
として、その仏法のすべてを第二祖日興上人に付
嘱ぞくされ、以来、日目上人、日道上人と、總本山大
石寺の御歴代上人に正しく継承されています。

したがつて、現代における仏法の師は、日蓮大
聖人以来の血脉を受け継ぐ御当代御法主日如上
人猊下をおいてほかになく、御法主上人の御指
南のまま、信行に励んでいくことが「師弟相対の
信心」であり、そこに即身成仏の大利益もあるの
です。



大石寺三門



登山者で賑わう総本山